

豚に対する諸糠サイレージ給与試験

今村照久*・栗原武*

IMAMURA, T. & KURIHARA, T. On the Feeding Value of Sweet Potato and Rice Bran Silage for Growing Pigs

養豚飼料として諸糠サイレージを利用する場合の給与限度を知るため、仔豚にやや長期間多給与した場合の発育及び健康を調べた。

試験方法 第1表の通り、試験ⅠとⅡに用いた諸糠サイレージは生甘藷100：米糠25、試験Ⅲは100：20の重量比に詰込み、詰込後2ヶ月たち品質は中等と認められた。

第1表 試験豚及び試験方法

試験区	試験豚	試験期間	配合飼料(風乾比) %						栄養価 %		青草日量 kg	給与量体重当 %	
			諸糠サイレージ	数	大豆粕	魚粕	コロイカル	塩	D.C.P	T.D.N			
試験Ⅰ	{A, B}	Y4, B4 (90日)	60日	70	—	20	10	2	0.5	15.1	75.9	1	4.5
				55	20	15	10	2	0.5	15.0	73.8	1	4.5
試験Ⅱ	{C, D, E}	Y 6 (150日)	50日	80	—	10	10	2	0.5	11.9	74.3	2	4
				65	15	15	5	2	0.5	12.0	73.9	2	4
				50	30	20	—	2	0.5	12.1	73.6	2	4
試験Ⅲ	{F, G}	B 8 (80日)	120日	80	—	10	10	2	0.5	9.5	58.0	1	4.5~4
				60	22.5	10	7.5	2	0.5	10.4	60.8	1	4.5~4

第2表 試験成績

試験区	A	B	C	D	E	F	G
開始時体重 kg	22.25	22.68	45.85	42.25	40.40	11.15	11.25
全期間増体量 kg	32.23	31.50	32.30	28.80	26.50	51.78	49.55
1kg増体当 T.D.N kg	2.197	2.201	2.698	2.704	2.752	1.773	1.919
屠肉率 %			66.0	62.8	60.2	72.2	69.6
1kg増体当飼料費円	103.69	100.21	122.68	122.16	116.35	101.11	98.23

試験成績 1. 発育 各区の発育は第2表の通りで、試験ⅠとⅡは正常な発育を示したが、試験Ⅲは給与飼料の栄養価低く又試験開始時の体重が不良のため、当初劣り後半順調な発育を示した。しかし全試験を通じ諸糠サイレージの配合割合が多い程増体量が多かったが、試験別に区間の増体量に有意な差を認めなかった。

2. 飼料の利用 全豚諸糠サイレージに対する嗜好性は当初数日間劣り、給与期間中飲水量が多くなる傾

向が見られた。又A B両区の一部に軟便を排泄したのは多給与のためと思われた。飼料の利用性は第2表の通りで、諸糠サイレージの配合割合が多い程1kg増体当T.D.N量が少く飼料の利用性は良好であった。

3. 屠殺成績 脂肪の集積、肉質は給与飼料の品質、量の差異により試験Ⅱは差を認め、試験Ⅲは大差なかったが、屠肉率は第2表のように多給与程大であった。

以上3回の試験から仔豚に給与飼料の80%の諸糠サイレージを120日間与えた場合、健康上何等異常を認めず、発育も良好であった。

*九州農業試験場